

2024年度 理事長所信

理事長 重野 隆太

2024年度スローガン

「三方よし」

～人によし、組織（JC）によし、地域（まち）によし・人は人によって磨かれる！！～

<はじめに>

【三方よし】

兵庫県西宮市に生まれ、高校卒業後、5年間の世界旅行を経て、起業への夢を胸に鹿児島へと足を踏み入れ、2012年、JCI 霧島への扉を開きました。地元出身ではない、「よそ者」として、私は仲間たちとJC活動を通じ、互いに切磋琢磨し、成長の道を歩んできました。

「よそ者、若者、ばか者」、これが地域の大変革を生むと言われています。よそ者が新たな視点を持ち込み、若者が果敢にチャレンジし、ばか者が既成概念に囚われない創意工夫を加える。この言葉を胸に、私は12年間のJC活動での学びを、霧島から九州全域へと広げ、還元していく所存です。特に注目すべきは、来年霧島市で開催予定の九州コンファレンス。これを成功させることが、私の新たなスタートラインとなります。

「三方よし」をスローガンとし、人、組織（JC）、そして地域（まち）に対して貢献し続けます。この精神のもと、関係者全員と共に成長し、人が人によって磨かれる信念を持ちつつ、挑戦し続けます。

私は、霧島市生まれでもなければ、何か大きな後ろ盾も無く、普通の人と違う道を歩んできており、決して毛並みの良い人間ではありません、ですが、歳を重ねても常に「若者」であり続け、新しい発想ができる「よそ者」として、そして時にはお調子者の「馬鹿者」として、未来へと挑んで参ります。

総務広報 「DXによる組織の進化」

JCI 霧島が地域社会に貢献するには、**地域からの**認知と信頼が不可欠です。そのためにも、広報は外部だけでなく内部にも重きを置く必要があります。そしてDXと**三方よしによる**精神で効率化と簡素化をもたらし、組織の運営をスムーズにします。また、DXの導入により、情報の発信と受信が効率的になるため、メンバーの活動が見えやすくなります。これは、多様な業種と背景を持つ会員がいる青年会議所にとって、特に有益だと考えます。さらに、広報活動の方針として我々は、発信する側と受信する側の双方に焦点を当て、よ

り認知され、理解される活動を展開します。具体的には、地域社会との連携を強化し、三方よしの精神で信頼を高めていきます。また内部広報については、会員同士のコミュニケーションも必要で、内部広報を強化することで、一体感が生まれ、組織全体が活性化すると考えます。

JCI 霧島が持続的に成長し発展するためには、DX と三方よしの精神を活かした広報活動で組織のブランド力が高まり、地域に影響力がある組織になると確信します。

拡大研修 「人と人が切磋琢磨する」

青年会議所の根幹は「人」であります。設立以来、会員同士の切磋琢磨が、この組織と地域の発展に貢献してきました。より組織のブランド力を高め、持続可能な組織となるには、**会員同士**が多くの「人」とかかわり自分だけでは経験できない新たな視点や思考を得ることが大切です。

私たちが**持続可能は組織となるには**、研修を通じて説得力と人間力を兼ね備えた魅力ある「人」を育て、組織のビジョンに共鳴し、参加する「人」を増やすことです。そして拡大は組織の生命線であり、新たな「人」の加入が組織と地域の発展を牽引します。また「人」は互いに影響し合い成長する存在です。私たちは新たな「人づくり」の基準を作り、一人ひとりが人間力を発揮し、地域社会で活躍できるリーダーを育成します。本年は、互いの成長のための機会提供を通じ、JCI 霧島のさらなる発展を目指します。

まちづくり 「宇宙産業と連携した JCI 霧島ブランドの確立」

高齢化や少子化、そして人口流出が進む中、**我々の活動エリア**も人口減少に悩む地域の一つです。この構造的な課題に対処するため、地域独自の資源を活用した新たなブランド作りが求められています。

鹿児島県は日本で唯一、ロケットの打ち上げ基地を有しており、霧島には宇宙工学を研究する教育機関や宇宙産業に特化した企業が集まっています。そしてこのような地域資源は、新しい地域ブランドの大きな可能性を秘めていると私は考えます。また、地域内の学校や企業と連携し、宇宙産業に関連する教育プログラムや体験イベントを産官民一体となった事業を開催します。これにより、若い世代が科学技術に興味を持つ機会を増やし、地域の活性化の一助となることで多くの人々がこの地域を愛し、住み、働きたいと思う持続可能なまちを目指します。

青少年国際 「国際の機会の創出」

我々は多極化する世界で生きており、技術の進展や国際化が進む中、単一の文化や考え方に固執することは、将来の成長と成功にとって大きな障壁となります。特に青少年にとって、国際的な視点はもはや選択肢ではなく必須条件だと考え、JCI 霧島が目指すのは、この新しい時代に適応し、さらにはそれをリードする人材を育み国際の機会を提供するこ

とが求められています。

国際的な視野を持つことは、将来、地域や国、さらには世界に影響を与えるリーダーになる資質を養うことにつながります。そして、より多くの青少年に国際の機会を提供するとともに、JCI 霧島の会員も世界と繋がる責任があります。また実際の海外訪問や、メタバースなどの新しい手段を模索し、自らが国際的な人材として成長することが、日本の未来を形作る重要な一歩だと考えます。さらに、多極化と国際化が進む現代で、このような取り組みは、国際的な視野を持つグローバル人材の育成や交流の輪を広げ、国際空港を有する地域ならではの国際の機会が提供できると確信します。

九州コンファレンス 「挑戦と成長」

JCI 霧島は、1998 年に九州コンファレンス（旧名：九州地区大会）を主管しており、先代の会員たちの努力によるもので、我々現役会員は今回もその進取の精神を受け継いで九州コンファレンスを成功させる責任があります。

特に、JCI 霧島の会員層は若く、九州コンファレンスの主管は組織としての成長と拡大、さらには地域社会への影響力を高める絶好の機会となります。そして、これまで築き上げた地域団体との連携を一層強化することで、持続可能なパートナーシップを築くことが可能です。これは「三方よし」の精神に基づいており、地域、JC、民間企業との関係を形成することが期待されます。また、九州コンファレンスは、JCI 霧島にとって、挑戦と成長を促す重要なイベントだと考えます。この機会を最大限に活用し、地域社会に寄与するとともに組織としての更なる発展を目指して参ります。

<終わりに>

「三方よし」、これは私が大切にしている近江商人の理念です。混沌とする現代において、この言葉は人々の関係性と社会全体の豊かさを重視し、私たちにとって欠かせない指針となっています。そして、私たち JCI 霧島は、伝統的な「ひとづくり」を通じて、組織と地域の活性化を目指し、相互の発展と好循環を創出します。これを達成することで、組織のブランド力向上と持続可能な地域社会の構築が実現できると確信します。また「三方よし」の精神を胸に、愛され、尊敬される存在を目指して、共に成長し、新たな行動を起こし続けます。さらに今年は特別な年である九州コンファレンス in 霧島が開催されます。この機会に貴重な経験を積み、一丸となって地域社会に貢献し、「未来は私たちの手の中！！」という使命感と信念を持ち、人のため、組織のため、地域のために考動して参ります。

基本方針

「DX による組織の進化」

「人と人が切磋琢磨する」

「宇宙産業と連携した JCI 霧島ブランドの確立」

<国際の機会の創出>

<九州コンファレンス 「挑戦と成長」 >

第1回次年度理事長会議 事前配信 2023.09.26

(はじめに)

意見1：修正点に色をつけてください。

対応1：色つけして分かりやすくしました。

総務広報 「DXによる組織の進化」

意見1：1行目：認知と信頼と突然出てくるので3人称を追記してください。

対応1：地域の認知と信頼と修正しました。

意見2：2行目：3方よしによる～と違和感があるので3方よしの精神とかが良いのでは。

対応2：3方よしの精神に修正しました。

拡大研修 「人と人が切磋琢磨する」

意見1：他のテーマは「」で閉じてあります。人を「」で閉じる意味はありますか？

対応1：テーマを「」閉じしました。人の「」を外しました。本文の「人」のみ「」残し
としました。

意見2：各「人」とは？会員同士？の意味ですか。

対応2：各「人」を会員同士に修正しました。

意見3：5行目：ゴールで大丈夫ですか？私たちが持続可能な組織となるにはとか

対応3：ゴールを削除し、私たちが持続可能な組織となる～に変更しました。

まちづくり 「宇宙産業と連携したJCI霧島ブランドの確立」

意見1：1行目：霧島地域とありますが霧島だけで良いですか。

対応1：我々の活動エリアに変更しました。

意見2：6行目：視野を持つ“ことは”～リーダーになる“資質を養うことにつながります”
等はいかがでしょう？

対応2：資質を養うに修正しました。

意見3：最後の文章にもう1文追加したほうが締まりが良い。

対応3：締めめの文章を追記しました。

終わりに

意見1：近江商人の文脈は冒頭でもいいのでは。

対応1：倒置法を考慮し終わりにに残しました。

第1回次年度正副理事長会議 2023.09.20

(はじめに)

意見1：自己紹介文が長いので簡潔に記載してください。

対応1：精査し簡潔にまとめました。

意見2：スローガンで売りて、買い手の言葉が入るのは検討してください。

対応2：検討し「ひとによし、地域（まち）によし、組織（JC）によし」に変更しました。

意見3：青年会議所で学んだこと成長できたこと、組織の紹介などを記載して書いたほうが良い。

対応3：文章を再考しました。

意見4：語り口調が多いです。印象に残したい文言は倒置法などを用いてみては。

対応4：心の中の動きを文章に記載するようにしました。

意見5：九州コンファレンスは来年ではなく本年に変更してください。

対応5：本年に変更しました。

意見6：統一ルールを周到してください。

対応6：統一ルールに合わせました。

総務広報 「DXによる組織の進化」

意見1：背景があって背景の繰り返しのほうが読みやすく感じます。

対応1：背景及び問題提起と理由を追記し記載しました。

意見2：DXが必要な理由と説明を記載しまとまりのある文章にしてください。

対応2：運営の簡素化、効率化が図れるなどの文言を追記し文章を再考しました。

意見3：三方よしは総務だけでなく全部に書いたらどうか。

対応3：全文に追記します。

意見4：読みにくい部分があり、ですます調で統一してください。

対応4：文言を精査しですます調で統一しました。

意見5：総務が広報する意味を書いたほうが良い。

対応5：組織運営と広報する意味を記載しました。

意見6：拡大に関する文章があるのでわかりにくいです。

対応6：拡大に関する文章は削除しました。

拡大研修 「人」と「人」が切磋琢磨する

意見1：背景と問題提起が入り混じっている。

対応1：文章構成を変え再考しました。

意見2：拡大はあくまでも手法なので背景ではない。

対応 2 : 「人」に惚れて入ってもらうような文章構成に変更しました。

意見 3 : 背景がわかりづらいです。

対応 3 : 背景を精査しました。

意見 4 : 組織として何故、人を増やさないといけないかを明確にしてください。

対応 4 : 文章を再考し組織に人が必要な理由を明記しました。

意見 5 : 「ひと」「人」統一し、どんな人を育てるかゴールを設定してください。

対応 5 : 文言「人」に統一し、ゴールを明記しました。

意見 6 : 「人」の定義はなんですか？

対応 6 : 拡大研修では「人」は会員を指す文章構成としました。

まちづくり 「宇宙産業と連携した JCI 霧島ブランドの確立」

意見 1 : 宇宙が前面にでている。ゴールがロケットだと霧島に基地はないのでは。

対応 1 : ゴールを地域資源の再発見及び霧島 JC ブランドの確立としました。

意見 2 : 九州の出入り口は福岡では？

対応 2 : 文章を削除し霧島 JC のブランドづくりと再考しました。

意見 3 : 宇宙やお祭り、人口減少と高齢化と観光まででているので絞りターゲットを絞り背景と繋がりを持たせて記載してください。

対応 3 : 背景を人口減少に焦点をあてブランドづくりで住みたいまちを創出します。

意見 4 : 空港があるので空に向けて人工衛星のようなものを飛ばすのは可能か確認を。

対応 4 : 航空法に基づき可能な場所を実施することは可能です。

意見 5 : 資源の文言が続いているので精査してください。

対応 5 : 文章構成を再考しました。

意見 6 : 締めに未来ビジョンをいれてはどうか。

対応 6 : 未来ビジョンの文言を文章に追記しました。

青少年国際 「国際の機会」

意見 1 : 前半が長く青少年の部分が薄いのでは。

対応 1 : 要点をまとめ簡潔に記載し青少年部分に厚みをもたせ再構成しました。

意見 2 : 主張が強く押し付けに感じる、自身の体験談などを記載してみても。

対応 2 : 背景で国際の重要性を追記し経験則に基づいた文章構成に再考しました。

意見 3 : 国際の機会は文言があっているのか。

対応 3 : JC の 4 つの機会である「国際の機会」を引用しています。

意見 4 : 誰に向けて言っているのかわかりづらいので文章を確認してください。

対応 4 : 対象を青少年・会員・海外で文章を再考しました。

意見 5 : 最後の文章で国際空港の文言で JCI 霧島が持っているような書き方なので精査。

対応 5 : 国際空港の一文を削除しました。

九州コンファレンス 「挑戦と成長」

意見 1：前半が長く青少年の部分が薄いのでは。

対応 1：要点をまとめ簡潔に記載し青少年部分に厚みをもたせ再構成しました。

意見 2：主張が強く押し付けに感じる、自身の体験談などを記載してみても。

対応 2：背景で国際の重要性を追記し経験則に基づいた文章構成に再考しました。

意見 3：国際の機会は文言があっているのか。

対応 3：JC の 4 つの機会である「国際の機会」を引用しています。

意見 4：誰に向けて言っているのかわかりづらいので文章を確認してください。

対応 4：対象を青少年・会員・海外で文章を再考しました。

意見 5：最後の文章で国際空港の文言で JCI 霧島が持っているような書き方なので精査。

対応 5：国際空港の一文を削除しました。

終わりに

意見 1：「人によし、地域（まち）によし、組織（JC）によし」をサブタイトルで統一。

対応 1：サブタイトルと整合性をとりました。

意見 2：変わった部分を踏まえ修正。

対応 2：変更点を精査し文章を再考しました。